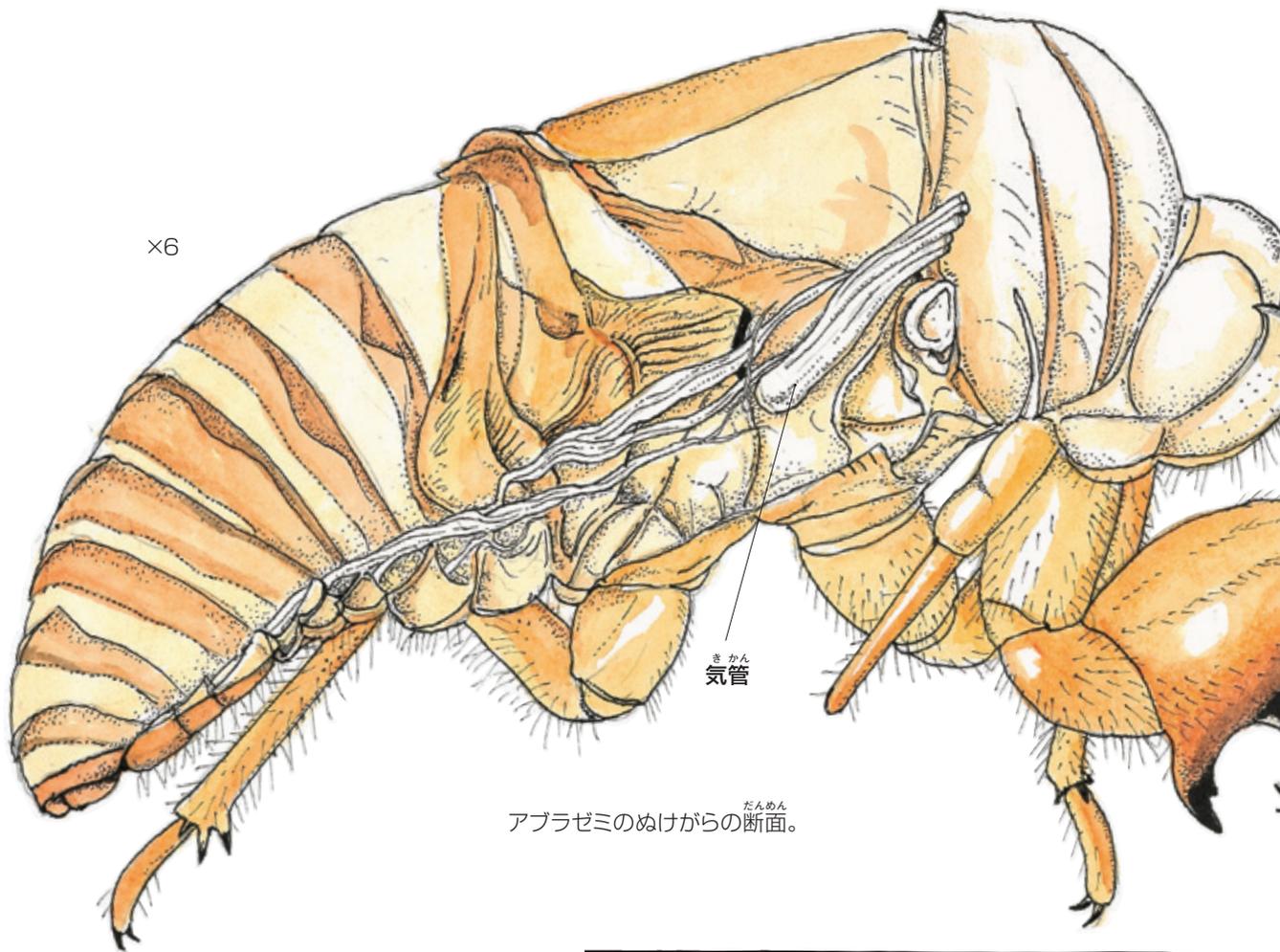


もりぐち みつる
盛口 満
沖縄大学学長
通称、
ゲッチョ先生

ぬけがらを半分に切ってみます。すると、ぬけがらの中に白い^{くだ}管があることに気づきます。これは、セミの幼虫^{ようちゆう}が空気を^す吸うのに使う、^{きかん}気管のぬけたあとです。

ぬけがらの^{しよつかく}触角も^{かくだい}拡大して見てみましょう。^{しゆるい}種類により、^{しよつかく}触角に生えている毛のようすがちがうことがわかります。

×6



アブラゼミのぬけがらの^{だんめん}断面。

少年写真新聞社発行の「ゲッチョ先生の自然誌コレクション」シリーズ『集めてわかるぬけがらのなぞ』から一部を転載して、ご紹介しています。このページの教育用コピー配布もご理解いただいていますので（商用利用不可）、自然観察にご活用ください！

日本自然保護協会

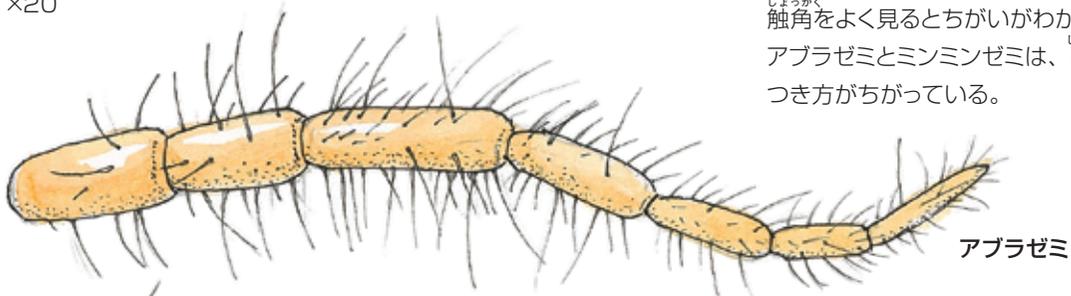


集めてわかるぬけがらのなぞ
ゲッチョ先生のぬけがらコレクション
盛口 満：文・絵 少年写真新聞社：発行
B5判64ページ 1980円（税込み）

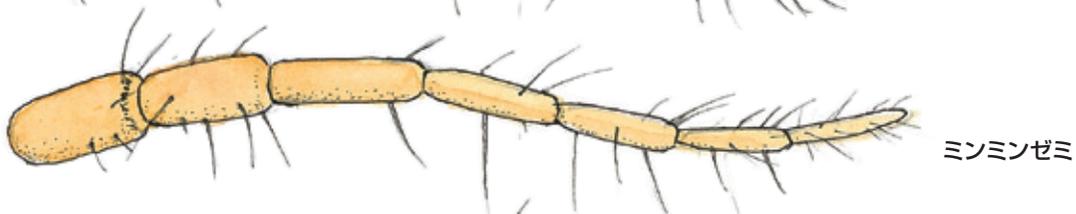
“ぬけがら”は、体のつくりをじっくり観察でき、形や成長段階の比較にも便利！地域の自然調べでは、種類や生息数の推定にも役立っています。そんな“ぬけがら”の魅力を緻密なイラストと軽妙な解説で紹介します。

×20

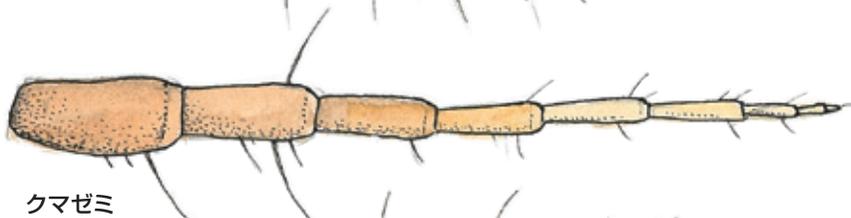
セミのぬげからは、よく似たもの同士でも、
触角をよく見るとちがいがわかる。
アブラゼミとミンミンゼミは、触角の毛の
つき方がちがっている。



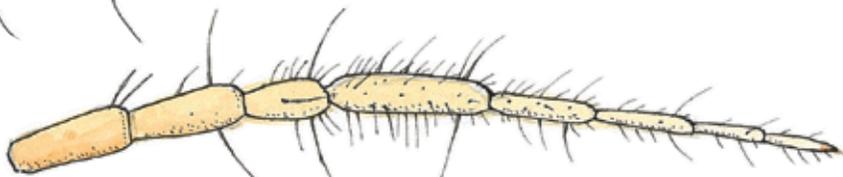
アブラゼミ



ミンミンゼミ



クマゼミ

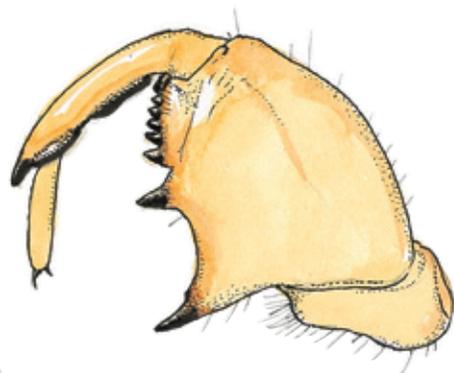


ヒグラシ



前あし

ツクツクボウシ



×9



アブラゼミ